

試合番号 : 231	試合会場 : 三島市民体育館	観客数 : 500		
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:39	試合時間 : 01:39		
主審 : 本間 明	副審 : 浅井 唯由			
東レアローズ	通算 18勝 9敗 ポイント : 55	21 第1セット 25	ウルフドッグス名古屋	通算 16勝 7敗 ポイント : 47
監督コメント コロナ禍の中、三島ホームゲームに来てくださり本当にありがとうございます。この中で試合ができることに感謝したいと思います。今日の試合では、我々の攻撃があまり機能せず、苦しい展開になってしまいました。この部分を立て直さないと厳しいので、しっかり修正して明日に臨みたいと思います。今日はたくさんの方の応援ありがとうございました。	0	22 第2セット 25	3	監督コメント 突然の春らしい陽気になりました。しかしながら、この厳しい環境の中で試合ができるということに心から感謝しております。今日の試合では、大事な場面で選手たちがとても良いプレーをして、得点を取ることができました。選手たちの対応が素晴らしいと思います。まだまだ我々ウルフドッグス名古屋は自分たちのアイデンティティを探している段階です。ステップアップできるように頑張りますので、我々の後押しをほどよろしく願っています。ファンの皆さまのご健康を心よりお祈りしております。Unite as one!
		23 第3セット 25		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート ホームゲームでの連勝を挙げた3位東レアローズと、上位を争う5位ウルフドッグス名古屋の一戦。第1セット序盤、WD名古屋はクレク・パダルの攻撃をブロックで封じ、コースを突くスパイクを決め、7点差にリードを広げる。追い上げる東レは西本がクイック攻撃を決めてチームのムードを盛り上げ、2点差まで詰め寄るが、WD名古屋はミドルブロッカーの傳田と近がスパイクとブロックで得点を重ね、セットを先取した。第2セット、両チームともに安定したサーブレシーブから攻撃につなげて得点を重ねる展開となり、終盤まで一進一退の攻防が続く。WD名古屋・傳田が連続ブロックを決めて東レを突き放すと、最後はクレクがスパイクを決め、WD名古屋がセットを連取した。第3セット、序盤はサイドアウトの応酬となるが、WD名古屋は傳田のブロック、山田のスパイクなどで徐々にリードする。後がない東レはパダル、富田の攻撃で反撃し接戦となるが、WD名古屋はリベロ小川の安定したサーブレシーブからクレク、高梨が得点し、このセットも取りセットカウント3-0で勝利した。				

試合番号 : 232	試合会場 : 堺市立大浜体育館	観客数 : 715		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:31	試合時間 : 02:31		
主審 : 村中 伸	副審 : 國頭 亮太			
堺ブレイザーズ	通算 19勝 8敗 ポイント : 57	23 第1セット 25	パナソニックパンサーズ	通算 17勝 8敗 ポイント : 53
監督コメント 今日はリーグ戦終盤における大きな山場の一つでした。激しい打ち合いを制し、大きな1勝を手に入れることができました。課題を修正し、明日の試合に万全で臨みます。ホームでの大活躍、ありがとうございました。力になりました。明日も応援、よろしく願います。	3	28 第2セット 26	2	監督コメント 勝てる機会があったからこそ、選手は勢いよく、思い切ったプレーができていたので、勝利できず本当に残念です。でも素晴らしい試合でした。明日もあるので、しっかり戦いにいきます。ご声援、ありがとうございました。
		25 第3セット 23		
		20 第4セット 25		
		18 第5セット 16		
要約レポート 2位の堺ブレイザーズが4位のパナソニックパンサーズをホームに迎えた大阪ダービーの第1戦。第1セット、堺はパナノンにトスを集めた攻撃を展開する。パナソニックはクビアク、大塚、山内など多彩な攻撃を仕掛ける。終始、サイドアウトの応酬が続いたが、パナソニックは途中出場の渡辺のサービスエースで流れをつかみセットを先取する。第2セット、堺は迫田と樋口の両アウトサイドヒッターが要所でアタックを決めチームを引っ張る。パナソニックも大塚、クビアクが相手のブロックを利用した攻撃を繰り出し大接戦となった。最後はパナノンの強烈なアタックとサービスエースが連続で決まり、堺がセットを奪い返した。第3セットは終盤まで一進一退の攻防が続く。先にリードしたのはパナソニック。クビアクがスーパーレシーブやアタックでチームを盛り上げ、21-19でパナソニックがリードする。流れがパナソニックに傾きかけるが、堺はパナノンが2点連続でアタックを決め同点に持ち込み、その勢いでこのセットを取った。第4セット、後がないパナソニックはクビアク、大竹が意地を見せた。堺も樋口が連続得点を決めるが、パナソニックがセットを取り返した。第5セットも大接戦となった。パナソニックはクビアクの連続得点で流れを引き寄せ、堺もパナノン、樋口、迫田のアタックでパナソニックにプレッシャーをかけ、試合の主導権を引き戻し、堺が大接戦の大阪ダービー初戦を勝利で飾った。				

試合番号 : 233	試合会場 : スカイアリーナ (第一総合運動場)	観客数 : 630		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:55	試合時間 : 01:55		
主審 : 原 啓之	副審 : 中口 岳			
サントリーサンバーズ	通算 20勝 5敗 ポイント : 54	22 第1セット 25	VC長野トライデンツ	通算 1勝 26敗 ポイント : 4
監督コメント 本日はサンバーズのホームゲームでたくさんのご声援ありがとうございました。期間が空いたことによるコンディションや試合感を取り戻すのに時間がかかりましたが、終盤には感覚を取り戻していたように思います。VC長野の粘りとディフェンスは我々を苦しめる高いレベルでしたし、明日もレベルの高い攻防が予想されます。我々も明日に向けさらに成長できるような準備と取り組みをしていきたいと思っています。このような大変な状況の中、ファンの皆様の前で試合をすることができる喜びを日々感じることができました。ゲームの開催にご尽力いただいた皆様、またファンの皆様、本当にありがとうございました。サンバーズは今後も成長を続けていきます。引き続き応援、サポートのほどよろしく願います。	3	25 第2セット 18	1	監督コメント このコロナ禍の中、大会の開催にご協力いただいている全ての皆様に厚く御礼申し上げます。一週間、サントリー戦の準備を行い試合に臨みました。第1セットは対策がはまりセットを奪うことができましたが、第2セット、第3セットは自分たちのバレーができずセットを失いました。第4セットはメンバーを替え、自分たちのバレーができるようになりましたが、終盤にミスが出てセットを失い敗戦となりました。今日出た課題を修正し、明日の試合に臨みたいと思います。本日は応援ありがとうございました。明日も応援のほどよろしく願います。
		25 第3セット 15		
		25 第4セット 19		
		第5セット		
要約レポート 連勝で首位を走るサントリーサンバーズがVC長野トライデンツをホームタウンである箕面市に迎えての一戦。第1セット、サントリーは相手のミスもあり主導権を握ったが、VC長野は伊藤のサーブで流れを引き寄せ、終盤、池田(幸)の緩急をつけた攻撃が決まり、セットを先取する。第2セットも序盤はVC長野のペースで試合が進んだが、中盤にサントリーはムセルスキーのサービスエースをきっかけに流れを引き返し、最後は柳田の連続サービスエースでセットを奪い返した。第3セット、サントリーは影の速攻、ブロックと攻守に渡る大活躍で、中盤以降に大きく差を広げ、セットを連取した。第4セット、勝負を一気に決めたいサントリーは、この試合好調の影や柳田にボールを集めた。VC長野はリベロ藤を中心とした守りやりヴァンのアタックで反撃を試みるも、最後はサントリー-佐藤が強烈な速攻をコートに叩きつけ、ファイナルステージ進出に向けて連勝を伸ばした。				

試合番号 : 235	試合会場 : 昭和電工武道スポーツセンター (大分県立武道スポーツセンター)	観客数 : 645		
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:20	試合時間 : 01:20		
主審 : 千代延 靖夫	副審 : 平田 敬基			
大分三好ヴァイセアドラー	通算 5勝 22敗 ポイント : 13	15 第1セット 25	ジェイテクトSTINGS	通算 14勝 11敗 ポイント : 41
監督コメント 今日はコロナ禍の中、応援ありがとうございました。また、関係者の皆様にもとても感謝しています。自分達のサーブレシーブがしっかり返っている中でスパイクミスや簡単なミスで、チームの雰囲気を持ち込むことができませんでしたが、チームの持ち味であるサーブを磨いていくことが重要だと感じました。優位に立つためにはどうしたらいいか、考えていくことが重要だと思います。もう一度、課題を明確にしてチーム一丸で頑張ります。明日も応援よろしく願います。	0	20 第2セット 25	3	監督コメント 応援に来てくださった皆様、大分三好の選手、関係者の皆様ありがとうございました。大分三好にはエメルソン選手、バグナス選手という素晴らしい選手がおり、相手の攻撃の決定、効果率を下げることにやや苦戦を強いられましたが、ストレートで勝つことができました。明日もサーブとブロックで勝利できるよう、もう一度対策をして挑みたいと思います。ファンの皆さまの前で、明日も試合ができる喜びを感じ、勝利を目指します。応援よろしく願います。
		18 第3セット 25		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート ジェイテクトSTINGSを迎える大分三好ヴァイセアドラーのホームゲーム。第1セット、ジェイテクトはフェリペ、宮浦を軸に攻撃を仕掛け、宮浦のサーブから流れを掴むと一気に点差を広げ、そのままセットを奪い取る。第2セット、流れを掴んだジェイテクトは序盤から宮浦のサーブで引き離しにかかる。大分三好も徐々に点差を詰めて、一時は同点に追いつくも、またしても宮浦のブロックに阻まれ、ジェイテクトがセットを連取する。第3セット、後がない大分三好はエメルソン、バグナスを中心に巻き返しを図るが、終盤にジェイテクトのブロックに苦しみ、悔しいストレート負けとなった。ジェイテクトは3週間ぶりの試合となったが、上位進出に向けて勝ち星を増やすことができた。				